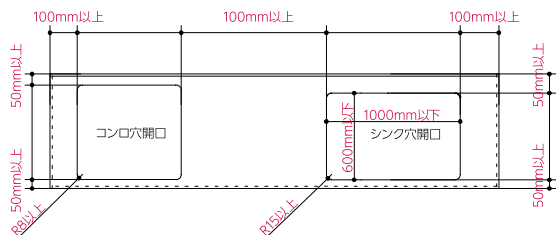


加工制約

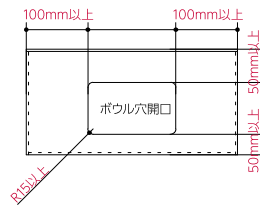
キッチンカウンター

加工位置をご指定の際は、下記の寸法以上の位置でご指定ください。



洗面カウンター

TOTO、LIXIL各社のボウル品番または、加工詳細情報をご指示ください。
加工位置をご指定の際は、下記の寸法以上の位置でご指定ください。



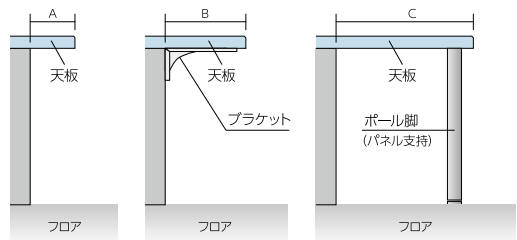
突き出し寸法

アイランド型キッチンや笠木で100mm以上の突き出しがある場合、下からの支持が必要となります。

突き出し寸法

突き出し長さ	支持
A : 0~100mm未満	支持不要
B : 100~200mm未満	ブラケット必要
C : 200mm以上	パネル支持・脚等必要

(裏面9mm合板貼り)

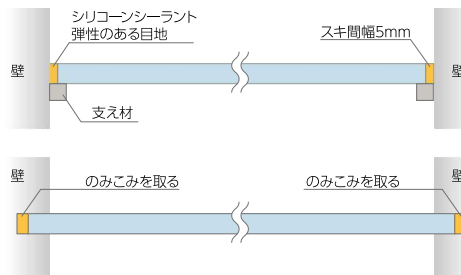


A: 0~100mm未満 B: 100~200mm未満 C: 200mm以上

※ブラケット・ポール脚等は現場にて調達願います。

施工におけるクリアランス確保

フィオレストーンは、温度変化によりわずかな伸縮があります。
カウンター両端が壁の場合は、伸縮分のスキ間を考慮の上設計してください。
スキ間部分へは、シリコンシーラント等の弾性のある目地材で、コーキングしてください。
3mの場合、両端に5mm程度のスキ間が必要になります。



※シリコンシーラントは市販のものをご使用ください。

運搬・施工上のご注意

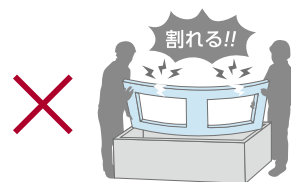
硬度が高く重い素材のため、取り扱いによっては割れる恐れがありますので必ずお守りください。



重い素材のためご注意ください。
1㎡で約 36kg の重量があります。
(フィオレストーン 1㎡+ 9mm 厚合板 1㎡)



横にして運ばないでください。
水平にして運搬すると、重みによるたわみで割れることがありますので、絶対にしないでください。



水平にする際にたわませないでください。
設置時に水平にする際、カウンター(特に開口部)がたわむと割れることがありますのでご注意ください。



必ず2人以上で立てて運搬してください。
フィオレストーンの移動・施工は、必ず2人以上でたわませないように作業してください。(上図参照)



設置場所に、一度立ててください。
設置する際は、一度設置場所に立ててから、長辺を支えられるように持ち替えてください。



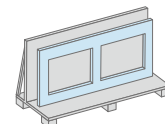
長辺を支えながら水平にしてください。
水平にする際、カウンター(特に開口部)がたわまないように、長辺を支えながらゆっくり水平にしてください。

その他のご注意

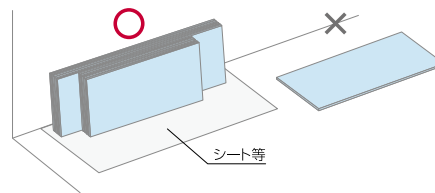
- ・落としたり、引かずったりしないでください。
- ・切り抜きのあるカウンターは破損を防ぐ為にも、キャビネットすぐ側まで梱包状態で運ぶことをお勧めします。
- ・カウンターを載せるキャビネットは、予め水平調整が必要です。
- ・カウンターが接する壁面は、予め不陸の無いように調整が必要です。

梱包形態

フィオレストーン加工品はサイズ・加工内容により、L型パレットに立てた状態で梱包・出荷されます。



- 直射日光や風雨のあたる屋外での保管は避けてください。
- 温度・湿度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- 保管は不陸の無い場所にシートを敷き縦置きとしてください。
平置きは絶対にしないでください。(図参照)



施工方法

カウンターとキャビネットの固定

- カウンターとキャビネットの固定は以下の手順で作業してください。
 - ①キャビネット上で仮置きし、位置合わせ。
 - ②カウンターを水平に持ち上げ、キャビネット天部木口に 250mm 間隔でシリコンシーラントを長さ 5cm 程度塗布します。(図-1)
 - ③カウンターを後側から降ろし、キャビネットに圧着します。
 - ④シリコンシーラントが硬化するまでズレないように注意してください。
- ※キャビネットとの接合は、別途ネジによる本固定が必要です。

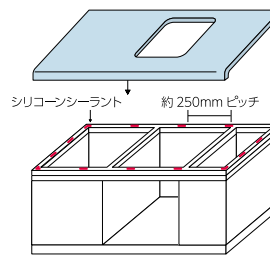


図-1

バックガードの接着

- バックガードはカウンターの上に載せ、壁面とカウンターにシリコンシーラントで接着・固定します。
- バックガード表側とカウンター取付面に養生テープを貼り、養生してください。(図-2)
- バックガード下部と裏側にシリコンシーラントを 250mm 間隔で長さ 5cm 程度で塗布し、その間に瞬間接着剤を数滴点付けします。
- この時、バックガード裏側から上部にシリコンシーラントがはみ出すのを防ぐため、裏側への塗布は上端よりやや下目に行ってください。
- 瞬間接着剤が硬化するまで強く押さえてください。
- バックガード立ち上がり部とカウンター取付面の間からはみ出したシリコンシーラントをキレイに拭き取り、再度シリコンシーラントでコーキングしてください。
- コーキングの仕上げは図のように内Rを付けてください。(図-3)

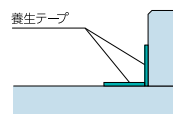


図-2

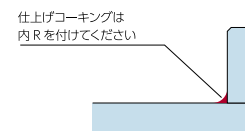
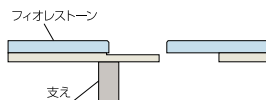


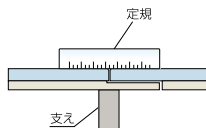
図-3

カウンター同士の連結

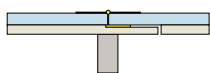
1. 図のように、突き出している方の下地合板に高さ調整材を置き、カウンター同士の高さが合うよう調整してください。



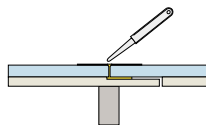
2. 図のように定規を当てて、カウンター同士の高さが合っていることを確認してください。



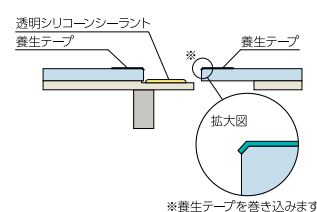
4. 図のように、カウンター同士を突き合わせて接着してください。シリコンシーラントが盛り上がってきます。



5. 盛り上がったシリコンシーラントはヘラなどを使って整形し、丁寧に養生テープをはがしてください。

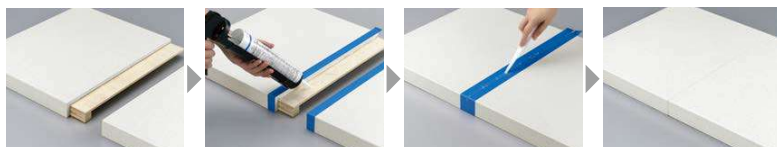


3. 図のように、カウンターに養生テープを貼ったのち、下地合板にシリコンシーラントを塗布してください。



※シリコンシーラントは市販のものをご使用ください。高さ調整が必要な場合、間に適当な厚みの鉄板や厚紙を入れて調整します。

● ストレート連結



● L型連結

